

(参考) デジタルサイネージ機能

■サイネージ ASP 機能

機 能	内 容
サーバ	<ul style="list-style-type: none">・ クラウド型システムであり、コンテンツ・ログ等のデータのバックアップを日単位で行っており、障害時の復旧が可能なこと。・ また、アンチウイルスソフトが導入されており、セキュリティが確保されていること
WEB機能	<ul style="list-style-type: none">・ 操作端末に専用アプリケーションのインストールを一切不要とし、システムが有する全機能を提供する WEB ベースのシステムであること。・ アンドロイド端末/アンドロイド携帯から操作が可能なこと。・ 複数ユーザが同時ログイン・操作ができること。・ 担当部署、担当者毎に権限を分離でき、操作できる範囲を限定できること。 例) システム管理者、コンテンツ承認者、コンテンツ操作者、運用担当者 (端末の稼働状況のみ閲覧)
外部連携機能	<ul style="list-style-type: none">・ APIによる外部連携が可能なこと。
稼働管理機能	<ul style="list-style-type: none">・ STB 一覧にて放映障害など STB 稼働状態が WebUI より確認できること。・ STB のリソース (CPU 利用率・メモリ使用量・HDD 残量など)・設定情報・現在の情報が WebUI より確認できること。・ STB に接続している機器 (主にディスプレイ) の稼働状況を確認できること。
コンテンツ管理機能	<ul style="list-style-type: none">・ 指定したレイアウトを定義し、レイアウトごとのコンテンツ更新が可能であること。・ コンテンツ管理画面で動画や静止画のプレビューが見れること。・ 複数ファイルより構成されるコンテンツは、zip ファイルにてアップロードができること。・ コンテンツ放映承認のワークフロー機能を有すること。・ テナント入稿動画を簡易 CMS で管理し、所定コンテンツにて自動再生が可能であること。
テンプレート機能	<ul style="list-style-type: none">・ 汎用テンプレートの放映が行えること。・ 複数ウィンドウ表示ができるようなオリジナルデザイン(デザインカスタマイズ)テンプレートの放映が行えること
放映番組スケジュール機能	<ul style="list-style-type: none">・ 登録したコンテンツを指定した順序に並べることができること。・ 時報等の時間指定、即時等の割り込み配信ができること。・ サーバで指定したレイアウト内で放映スケジュールの設定ができること・ 登録した素材、スケジュールごとに、放映可能な STB を指定することができること。・ スケジュールが埋まっていないもしくは登録した放映素材が期限切れ等により放映できない場合は、警告を表示すること。
配信管理機能	<ul style="list-style-type: none">・ コンテンツ及び放映番組スケジュールの未配信 STB を検索でき、放映障害を未然に防ぐことができること。
保守機能	<ul style="list-style-type: none">・ サーバより STB の個別設定情報をダウンロードし、セットアップができる。・ セットアップでは、画面出力・解像度・回転・周波数・音声出力の設定を自動的に行うことができる。ケーブルの抜き差しなどでディスプレイの解像度がずれた場合にも自動的に再設定

	し修復を行うことができる。
--	---------------

■ STB 機能

機 能	内 容
コンテンツ放映機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蓄積したコンテンツの放映を指定した順序で放映することができること。 ・ サーバで指定したレイアウトに合わせた表示ができること。 ・ 定期的に取得するテキスト・画像データは、STB(ローカル領域)にデータ蓄積し自動更新および画面表示できること。 ・ コンテンツの切り換りの際に黒味が出ない放映ができること。
ログ管理機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ アップロード間隔はサーバ管理画面から指定できること。 ・ 異常を検知した際には管理者にメール等で通知ができること。 <p>ここでいう異常とは STB の疎通停止あるいは STB 内のアプリケーション異常を示す。</p>
サーバ・STB間通信	<ul style="list-style-type: none"> ・ サーバ側から STB を監視し、通信記録を取得できること。 ・ サーバで指定した間隔以上通信が行われない場合には、異常判定できること。
帯域制限機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ ネットワーク構成によっては STB のみ通信速度を制限したい場合があるため、配信の帯域制限を STB 毎に設定できること ・ サーバ側にて STB の帯域利用状況を確認できること。
プロセス管理機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ プロセス管理ができること。 ・ プロセスが異常終了した際そのプロセスを再起動させ、自己復旧できること。 ・ 自己復旧した情報をサーバに通知できること。
ディスプレイ制御機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ ディスプレイ制御が可能である。 ・ シリアル制御コマンドまたは SNMP 機能等により、ディスプレイの死活監視ができること。 ・ シリアル制御もしくは SNMP 機能等により、ディスプレイ ON/OFF・入力切替・音声切替ができること。 ・ シリアル制御もしくは SNMP 等のコマンドのスケジュールの設定ができ、ディスプレイの ON/OFF のスケジュールリングが可能であること。 ・ ディスプレイ制御機能により、異常を検知した場合には、サーバ側に異常通知をできること。
STB内アプリバージョン管理機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ STB にインストールされているアプリケーションのバージョンをセンター側で管理できること。 ・ STB 上で動作するアプリケーションのバージョンアップが可能であること。 ・ アプリケーションのバージョンアップ作業をサーバ側の操作で日時等を設定して実行できること。

■ STB 性能

性能	内 容
スペック	<ul style="list-style-type: none">・ FullHD 以上(最大 4K)の動画再生品質を担保すること。 Intel Corei7/メモリ 8GB と同等のスペックを有する STB が最低減必要であると想定している。・ 上記 STB は、最終購入から 5 年以上供給が可能であること。また、8 年以上部品交換が可能であること。
OS	<ul style="list-style-type: none">・ Windows 10 以上
インターフェイス	<ul style="list-style-type: none">・ タッチパネルディスプレイに対応できる I/F を有していること。
耐久性	<ul style="list-style-type: none">・ 1 日 24 時間稼働に対応する耐久性に優れた製品を選定すること。